



イカシバに土のうを結び付け投入↑

★産 北さつま漁協イカシバ設置事業 卵場所を確保し大漁を願う

4月2日、北さつま漁協長島支所青壮年部（鶴長一之部長）では、ミズイカ（アオリイカ）の産卵場所を確保しようと指江港沖にイカシバ50本を投入しました。この取り組みは、資源の拡大を図り、レジャーとして釣りを楽しむ人たちと共存しながら海の幸を堪能し、資源の大切さを理解してもらおうと計画されました。この日は、事前に山から切り出した杉の木を船に寄せ投入場所に移動し、約40kgの土のうを結びつけ投入しました。

レジャー代表として参加した、中間修二さん（指江）は、「たくさん卵が産み付けられたらうれしいです」と話してくれました。

★1 汐見小学校入学式 人の新入生、みんなで歓迎

4月6日、町内11の小学校、6つの中学校で入学式が行われました。

汐見小学校（竹内功校長）では一人だけの入学式となり、女子児童の小屋真咲さん（父親正隆さん、母親絵利香さん）を学校、地域みんなが歓迎しました。この日、新入生入場を前に体育館の外で待っている真咲さんは、笑顔で先生や学校のお兄さん、お姉さんに手を振るなどし、満開の桜のように笑顔いっぱいでした。

出席者が見守る中入場した真咲さんに、竹内功校長から教科書が授与されると、「ありがとうございます」と大きな声でお礼を言いました。

2年生と3年生によるお祝いの言葉では、真咲さんの似顔絵で歓迎するとニコリ。その後、汐見小学校伝統の「たる太鼓」の演奏も披露され、お兄さん、お姉さんの手さばきに驚いた様子でした。真咲さんは「今日はうれしかったです。明日からの学校が楽しみ」と答えてくれました。

一人の入学生、小屋真咲さん↓



←2年生と3年生は得意の一輪車で入場し、お祝いの言葉を贈りました